平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） ７０ ※記入不要	提案機関名	県央地域農業改良普及センター

要望問題　パン用小麦の選定

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】

１　背景

管内では、小麦の農林６１号が約１０ha作付けされている。しかし、成熟期が遅いため、収穫期が梅雨時期になるため、早生の品種の選定が望まれている。一方、小麦の実需者からは、パン用小麦の利用を要望されている。

２　内容

暖地向けのパン用小麦品種の選定

３　対象地域および規模

座間市：約５ha

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部　　署：	生物資源部
対応区分	①実施　②実施中　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）

新品種系統適応性検定試験

（１）奨励品種決定基本調査・普及事業(S29～)

ア　奨励品種決定調査事業(S29～)

対応の内容等

小麦品種の選定については、上記課題により実施しております。

近年、パン用の小麦品種はいくつか育成されてきていますので、育成地より種子を取り寄せて試作し、神奈川県に適した品種・系統について栽培特性調査を実施しています。

加工適性につきましては、当所には小麦の加工適性を調査する機器装置が備わっていませんので、現地におけるパン加工の試作等に協力します。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	